

5 「第一期計画」の取組と評価

第一期計画においては、11の基本的施策に38項目の施策の目標を定めるとともに、目標達成に向けた主な取組117本を掲げて施策を推進してきました。また、取組の数値目標である事業指標及び効果を検証するための成果指標を設定したところです。

ここでは、取組全体及び11の基本的施策毎の評価と、事業指標の推進状況に関する現状について整理します。なお、これまでの取組の中で生じた各施策の詳細な課題等については、「第4 計画の内容」において記述することとします。

(1) 取組全体の評価

- 各基本的施策毎に掲げた「主な取組（117本）」を中心として各種事業を推進するとともに、毎年度の推進状況等を把握しながら総合的な対策となるよう努めてきたところであり、多くの取組については概ね計画どおりに推進されてきたところです。
- しかし一方で、仕事と家庭の両立のための雇用環境がまだまだ十分ではなく、さらに、若年者の完全失業率や非正規労働者の割合が高く、経済的不安定さが増すなど、社会経済情勢の変化などもあり、本道の少子化の傾向に大きな改善が見受けられない状況にあります。
- このような状況を踏まえ、今後もそれぞれの取組の充実強化や実施方法の改善等が必要であることはもちろん、様々な要因や新たな観点等も踏まえた総合的な対策と、関係機関等との連携強化など社会全体での取り組みをより一層推進することが重要であると考えます。